



瑞江中学校だより

令和6年2月1日
江戸川区立瑞江中学校
第 10 号

人魚はどのように呼吸しているのだろうか

校長 岩下 敏夫

20240129 全校朝礼

先週末、都立高校の推薦入試が行われました。今週末には合格発表です。面接や小論文は正解がないので、どのくらいできたかわかりにくく不安だと思いますが、皆さんのこれまでの努力が報われることを願っています。2年生の皆さんはあとちょうど一年です。どんなに努力したつもりでも、いざその日を迎えると不安なものです。私たちにできることは、悔いの残らないように一日一日を大切にすることだけですね。

さて、話は変わります。江戸川区には「青少年の翼」という青少年が海外でホームステイを体験する事業がありますが、6～7年前、これと同じような取り組みで、ある区の中学生をオーストラリアに引率しました。派遣先は「バンバリー カセドラル グラマースクール」という小中高一貫の学校で、中学生、8年生だったと思いますが、理科の授業を見学した時のことです。様々な生物の呼吸の仕方、肺呼吸、えら呼吸、皮膚呼吸などを学習していました。そして先生は授業の最後に、この学習のまとめとして、次の時間の学習テーマを伝えました。そのテーマとは「人魚はどのように呼吸しているか」でした。しかし人魚は想像上の生物で実際に見た人はいません。ですから、出題した先生も正解は知りません。ならば、何を答えればよいのでしょうか。

通知表にあるように、今、皆さんの成績は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の3つでつけられています。この理科の授業でいえば、

- 「知識・技能」は、それぞれの呼吸の仕組みや適する環境、生物にとってのメリット、デメリットを理解することにあたるでしょう。
- 「思考・判断・表現」は、学んだ知識を活用して「人魚はどのように呼吸しているか」を考え、その意見、考えがどれだけ皆を納得させることができるか、になるでしょう。
- そして「主体的に取り組む態度」では、当初の自分の考えを基準に、他人との意見交流を通して、どれだけ自分の考えをレベルアップさせることができたか、が評価の対象とされます。もちろん最初から素晴らしい考えであれば、それはそれで評価されますよ。

日本の学校がこのような評価の仕方に変わったのは、つい3年前です。しかし海外ではこのような学習が昔から取り入れられていました。ちなみにこの「バンバリー カセドラル グラマースクール」はケンブリッジ大学と関わりのある学校で、毎年何人もがケンブリッジ、ハーバードに進学している学校です。国際化といわれる今、日本だけが昔ながらのやり方では、ほかの国に遅れをとってしまうという事情もあったのでしょう。

瑞江中だけが時代遅れといわれる授業では皆さんに申し訳ないと、先生たちも苦労して新しい学習の形に取り組んでいます。令和の教育といわれるものを、皆さんと先生方で協力し合って作り上げていってほしいと思います。そして皆さんがこれからの更に進歩した国際社会で活躍する人に成長してくれることを期待しています。

〈江戸川区中学校合同作品展〉

1月26日（金）～29日（月）の期間で第23回江戸川区中学校合同作品展が行われました。多くの生徒の作品が出品されましたので紹介させていただきます。

技術科作品出品者

1年

2年

3年

美術科作品出品者

1年 〈白板彫刻鍋しき〉

2年 〈アートガラスメタリック時計〉

〈メタリックフレーム〉

3年 〈篆刻・印箱〉

〈日本画風プッシュカラー〉

家庭科作品出品者

1年 〈冬休みの宿題「大掃除をしよう」〉

2年 〈お節料理レポート〉

〈冬休み宿題「家族のために料理を作ろう」〉

〈夏休み宿題「朝ごはんチャレンジャー」〉

3年 〈お手玉〉

書写作品出品者

『地域交流』 1年

『将来の夢』 2年

『梅花香る里』 3年

＜瑞江中学生の活躍＞

○バドミントン部

令和5年度 東京都中学生バドミントン冬季Cブロック大会

都大会予選大会 (12/2・12/3)

男子 シングルス 第三位 (2)

女子 シングルス 準優勝 (2)

ダブルス 第三位 (2) ・ (2)

令和5年度 江戸川区バドミントン連盟杯南地区予選会

1年男子 シングルス 第五位

1年女子 シングルス 第五位

令和5年度 江戸川区バドミントン連盟杯争奪戦大会本戦

2年男子 シングルス 優勝

2年女子 シングルス 優勝

準優勝

＜花いっぱいプロジェクト＞

1月11日(木)に、学校応援団の活動の一つとして、本校で初めての取組となる「花いっぱいプロジェクト」が行われました。とても寒い一日となりましたが、2年生の有志生徒と生徒会役員が、パンジーやプリムラを1つずつ丁寧に植えました。不慣れな生徒もいましたが、PTAの方に補助してもらい、上手に植えることができていました。これから、生徒会役員の皆さんが中心になって昼休みに水やりをやってくれますが、学校にいる全員の花なので、皆さんにもぜひ優しい目で見守ってほしいと思います。きっと、来校する人たちの目を花たちが楽しませてくれることと思います。

＜道徳授業地区公開講座＞

1月20日に道徳授業地区公開講座を行いました。今回は校内研修を兼ねての実施でしたので、2クラスの授業を公開し、その様子を保護者や地域の方に見ていただきました。1年A組では主幹教諭が熊本地震での出来事を題材に授業を行い、学校生活をより良くし、集団生活を充実させるためにはどうすれば良いかを考えました。2年C組の教諭の授業は、本当の友情とはどんなものかを考え、今後のクラスでの人間関係構築に活かしていこうとするものでした。どちらの授業も個人で考えた後、グループ内で考えを出し合いし、人によっていろいろな考えがあるということを共有していました。その後に行われた協議会でも、保護者の方や教員から活発な意見が出て、とても有意義な時間にすることができました。

<避難訓練>

1月11日（木）に火災を想定した避難訓練を行いました。元日に能登半島地震があり大きな被害を出しました。普段から訓練を繰り返し行うことで、実際に災害が起こったときによりスムーズな動きができるようになるはずです。1つ大切なのは、自分は地震や火事が起こっても大丈夫だという楽観的な考えを捨てることです。非常ベルが鳴ったとしても「誰かがイタズラで押したのだろう。」と考えたり、地震が起こったとしても「どうせすぐに治まるだろう。」と考えたりするのは危険です。そういう場面になったときには、「今、自分は楽観的に考えてしまっていないか」と冷静に考えることで、事態を真剣に受け止めることができます。

毎回伝えていますが、災害はいつ起こるか分かりません。普段から、自分の身は自分で守るという意識を高めていけるよう、これからも、学校では定期的に避難訓練を行っていきます。

<江戸川区 授業の達人に 先生が選出>

江戸川区では、各教科等において、自らの資質の向上を目指し、常に研究と修養に努め、高い実績を上げている教員を評価し「授業の達人」として表彰しています。今年度中学校からは6名選ばれ、本校からも英語科の 主幹教諭が選出されました。普段の授業で、本時の目標を明示し、生徒にねらいをしっかりと意識させ授業を行っていることやICTの活用、日常生活でよくある場面を想定したペア・ワークの実践などが評価をされての受賞でした。区長から直接、受賞の盾をいただきましたが、本校にとっても大変嬉しい出来事となりました。



<2月の主な行事予定>

- 2月 2日（金）校外学習（2）百人一首大会（1）
- 7日（水）区中研一斉研究会 45×4
- 8日（木）専門・中央委員会
- 9日（金）新入生保護者説明会 漢字検定
- 14日（水）職員会議
- 15日（木）試験一週間前（部活動停止）
- 19日（月）避難訓練
- 21日（水）小中連携研修会45×4 都立一次入試
- 22日（木）学年末考查1日目 2数学 3理科 4保体
※給食なし
- 26日（月）学年末考查2日目 2英語 3技家 4音楽
※給食なし
- 27日（火）学年末考查3日目 2国語 3社会 4美術
- 28日（水）1, 2年 学力テスト 3年 卒業校外学習
- 29日（木）安全指導